

図書館名：貫井図書館

図書館利用者懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ すでに対応している項目
 ○ 早急に対応を行う項目
 □ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
 △ 全館で対応を検討する項目(※光が丘図書館で回答を作成します。)
 — 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	夏・冬の実験教室は子供にとって大変に有効な教室になったのではないと思うが、一年間を通じて一つの課題を子供に課せるようなものがあたらどうか。	定期的に行えるのであれば、とても意義のあることと思いますが、講師都合などスケジュール的に難しい部分があるかもしれません。貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。	□
2	石神井・大泉・関町・貫井・南田中図書館合同「調べ学習用地域資料カード」は、練馬区全体の学校へ配布されたのか。	デジタルアーカイブとして登録し、インターネットで公開することを検討しましたが、容量の問題があり実現できておりません。なお図書館の所蔵資料として登録しているので、どなたでも借りることができます。引き続き多くの方に利用していただけるよう取り組んで参ります。	◎
3	絵本のよみきかせを盛んにされているが、図書館司書の他にはどんな人がやっているのか。	図書館スタッフの他には、光が丘図書館で研修を受け、登録されたボランティアの方や団体の方が行っています。	◎
4	デジタルのコンテンツとしては、今後どんなものがあるか。タブレットの貸し出しなどはあるか。	練馬区立図書館では、令和7年1月の休館明けから電子書籍の利用が開始されます。国会図書館などでは、デジタル化が進められています。タブレットについては現在、貸し出しはしていません。	◎
5	読書離れということが新聞などでも取り上げられている。「本の福袋」という形で本に触れる機会を楽しんでいるものがあるが、本の選定はどのようにしているのか。	本の福袋は差し上げるものではなく、貸し出しをするもので、本との偶然の出会いを楽しんでいただけるようスタッフが選定しています。毎年かなりの数を用意しますが、数日でほとんど貸し出され、大変人気です。	◎

6	リサイクルの本がメルカリなどで高額に売られている現状がある。	リサイクル本頒布については転売目的のご利用はお断りさせていただいておりますが、最終的には皆様の良識にお任せするということではあります。	—
7	視聴覚室の設備のことで、先日委託講座をこちらで開催したが、パソコンとプロジェクターをつないで投影したが、一部映らない個所があった。これはなぜか。	おそらくプロジェクターではなく、パソコンのデータの設定が原因かと思われます。できれば事前に接続のテストをお願いできればと思います。	◎
8	図書館と美術館の改築が予定されているが、その間の図書館としての機能はゼロになってしまうのか。補ってくださる施設があるのか。	【光が丘図書館職員】 工事期間中、予約図書の貸出返却を行う仮設窓口を近隣施設に設置するよう検討しています。また、ブックスタートやその他の事業の継続も検討していきます。内容がまとまり次第、お知らせします。	◎
9	新聞・雑誌の閲覧ができるところを区民センターに作るなど、日常的にコーナーを利用している地域の人たちに対して、図書館の事業というより、日常的に居場所とすることができる場所の設置を検討しているなどあるか。	【光が丘図書館職員】 貫井図書館には、雑誌や新聞などの閲覧でご利用される方が多いことは認識しています。近隣の施設で、雑誌や新聞などの閲覧ができるスペースを確保するよう検討していきます。	◎
10	いろいろな活動が活発となってきていることもあり、区の公共施設のスペースは、抽選になるなど取りにくくなってきている。複数スペースが新しい図書館にあればいいなと思っている。利用が複数があった場合はどのように調整しているのか。	申込みは問合せ順となっています。現在、抽選ということはしていません。視聴覚室の予約については、まず図書館の事業が入ります。それから図書館に関連する目的内利用の団体の方が3か月前、その以外の目的外利用の団体が2か月前から申し込みできることになっております。利用目的によって申し込める期間が違い、かつ早いもの順ということになっています。	◎
11	建て替え中に、児童サービス、出張サービスなどは、3年間はどのような風に考えているのか。	まだ決まっていないところもあり、あくまでも希望でございますが、出張事業については変わらずに続けていきたいと考えています。	◎

12	区民の方への社会教育という立場から、駅に近い立地を活かし、夜間にサラリーマンや学生を対象に英会話の講座とか、PCの使い方とか、留学生への日本語教育とかやってはどうか。練馬の中で働く人間が少なくなっていく、高齢者が増えて生産人口が減っていくなかで、海外からの移住者がお店の従業員として働くなど、あらゆる場にそういう人が必要となってくる。そうした方々に向けて、日本語教育、国語と社会科はどこが担っていくのか、それは図書館しかないを考える。外国では費用を取らないで図書館が行っている。納税力向上をしっかりと図書館がやらなければならない。	地域の方々が生活しやすくなるために、様々なサービスをしなくてはいけないと考えております。今後、そういった取り組みが出来るように検討していきたいと思っております。	□
13	建て替え中のスケジュールについて決まっていることをうかがいたい。	【光が丘図書館職員】 施設の解体工事の開始時期が未定のため、現時点では、休館の開始時期をお知らせすることはできません。休館に必要な作業期間を確保する必要がありますが、少しでも長くご利用いただけるように検討しています。内容がまとまり次第、お知らせします。	□